

谷口顕一郎の凹みスタディ

札幌市民交流プラザの吹き抜けに在る『凹みスタディ - 札幌のかたちを巡る 2018』を手がけたドイツ・ベルリン在住のアーティスト 谷口顕一郎氏を迎え、代表的な作品群である「凹みスタディ」でのミクロな視点、「シティスタディ」でのマクロな視点、さらに近年のフィールドワークから生み出されている大地の起伏をも凹みの画材と捉えるようなダイナミックな視点の移り変わりを札幌の地で伺います。



2024年7月6日(土曜日)

13:00 ~ 14:00

札幌市民交流プラザ

札幌市図書・情報館1階サロン

(札幌市中央区北1条西1丁目)

入場無料 予約不要 (定員40名先着順)

スピーカー

谷口顕一郎 (アーティスト)

細谷多聞 (札幌市立大学デザイン学部 教授)

藤沢礼央 (札幌市立大学デザイン学部 講師)

モデレーター

樋泉綾子 (札幌芸術の森美術館 学芸員)



Fieldwork photo: Felix Amsel
Portrait photo: 藤倉翼

谷口顕一郎 Profile

1976年、札幌生まれ。北海道教育大学札幌校 芸術文化課程絵画科を卒業。2006年よりドイツ・ベルリンと札幌を拠点に活動。自然と人間の境に見つけた痕跡を「凹み」と呼び、世界各地で収集・アーカイブすることをライフワークとしている。その凹みの形に折りたたむ、回転させる、ねじるなどの動きを加え、3次元の可動彫刻を制作している。オランダ司法省新築ビル(2012年)等にて公共彫刻の設置を手がける。第1回本郷新記念札幌彫刻賞受賞(2015年)、ペーパーアートアワード銅賞受賞(2023年ドイツ・ベルリン)。主な展覧会にアムステルダム国立美術館、ロッテルダム美術館、A4美術館(中国・成都)、テジョン美術館(韓国・大田)、コーダ美術館(オランダ・アペルドールン)などがある。